

文字をメインにしたデザイン Letters in Design

伊藤豊嗣 Toyotsugu Itoh

この10数年の間に手がけたもののうち、文字を主たるモチーフにしたデザインをまとめてみる。

ビジュアルとして生かした文字を見直すと、それは伝えるべき事柄（イベントなどのタイトル、テーマ、メッセージ、発信者の名称他）をフルに表すことばやその頭文字などであった。

コミュニケーションデザインの中で、文字をビジュアルとして生かす効果は何か。図形がモチーフになっているのとは違って、ことばやひとつの文字はもともと何らかの意味あいを持っている。それをある性格を持った書体で示したり、そこに別の形状を付帯したり、他の事柄の形状やイメージと文字を合体させたりする。そのことによって、複数の意味が含められ、伝えようとするメッセージの巾や奥行きが広がる。もともと文字に意味があるだけに、伝わりやすい反面、伝達がストレートになりすぎたり、過剰になりすぎる恐れもある。どの程度が適度な表現かを判断することが重要である。

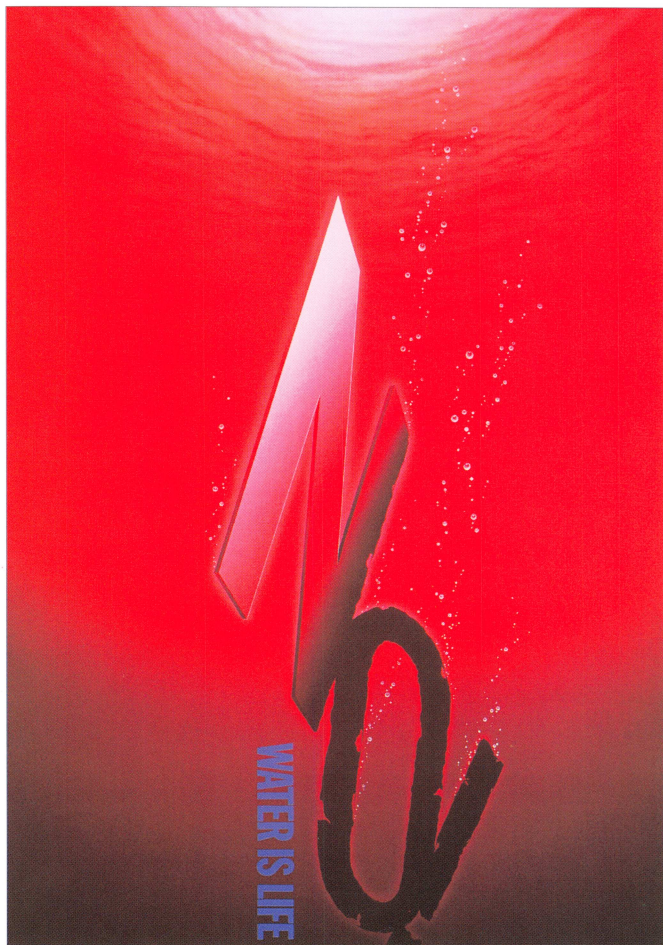
これまで、文字としての判読性を意識に置きながら、それを図形化したり、平面や立体、半立体のイラストレーションの要素にしてきた。課題をクリアしていく難しさと同時に、興味のつきない対象であることをあらためて感じる。



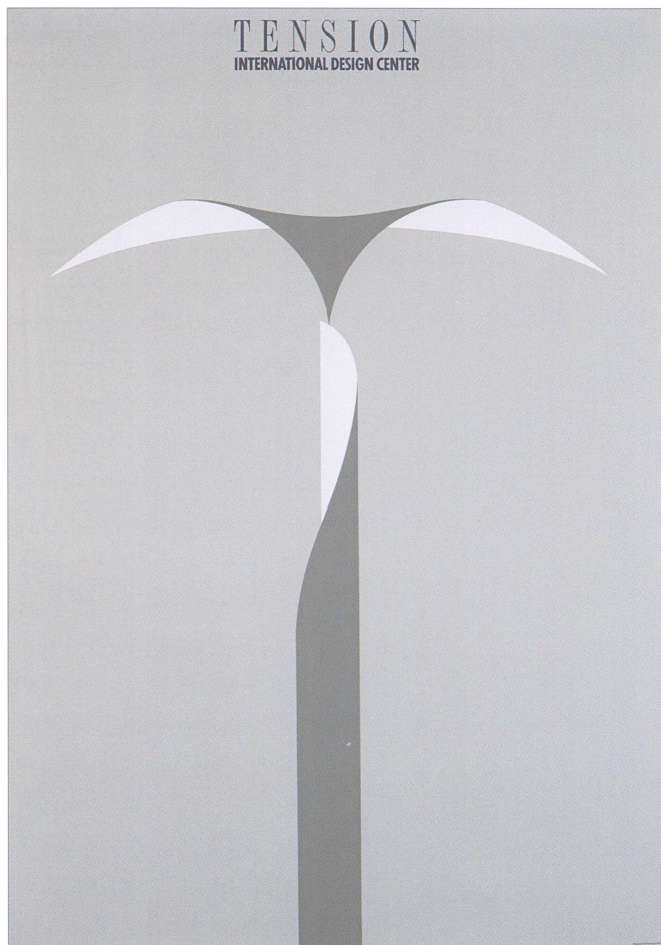
2004年／展覧会告知—「公共広告の現場展」



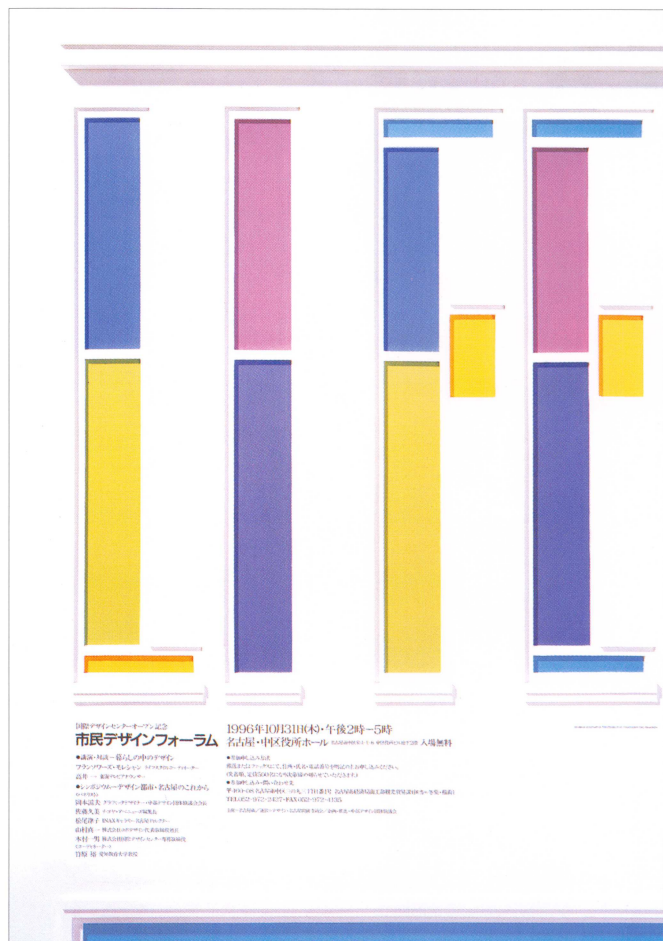
2004年／広告賞作品募集—「a"ichi "a"dvertising "a"ssociation



1990年/ KISSNAM'90「水」ポスター展出品—"No!"



1992年/ 国際デザインセンター・イメージグラフィック展出品—"T"ENSION



1996年/ デザインシンポジウム告知—テーマ"DESIGN IN LIFE"

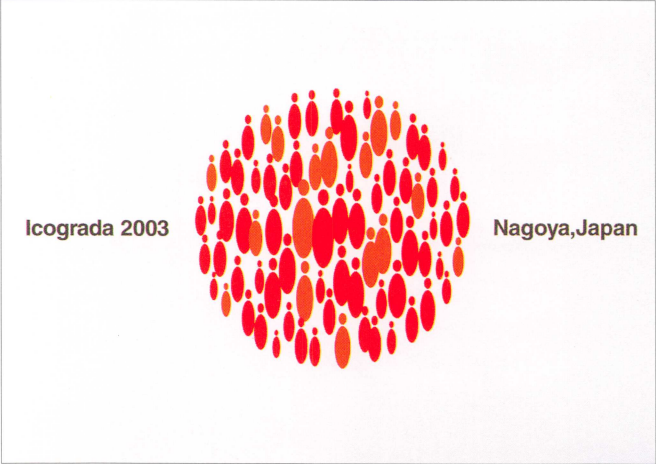


1998年/ 展覧会告知—"A"RCHITECTURE"E"

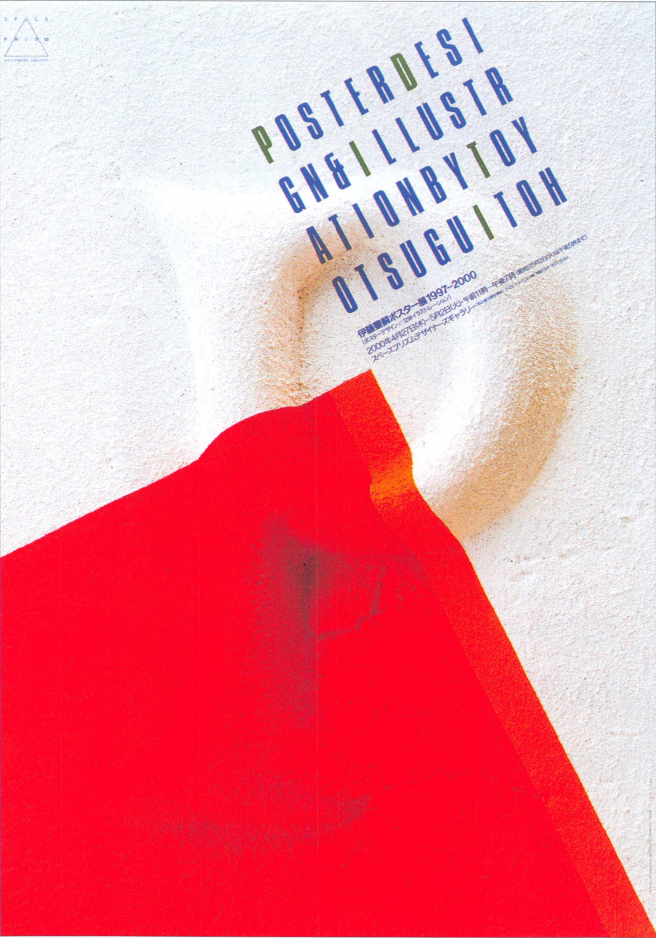
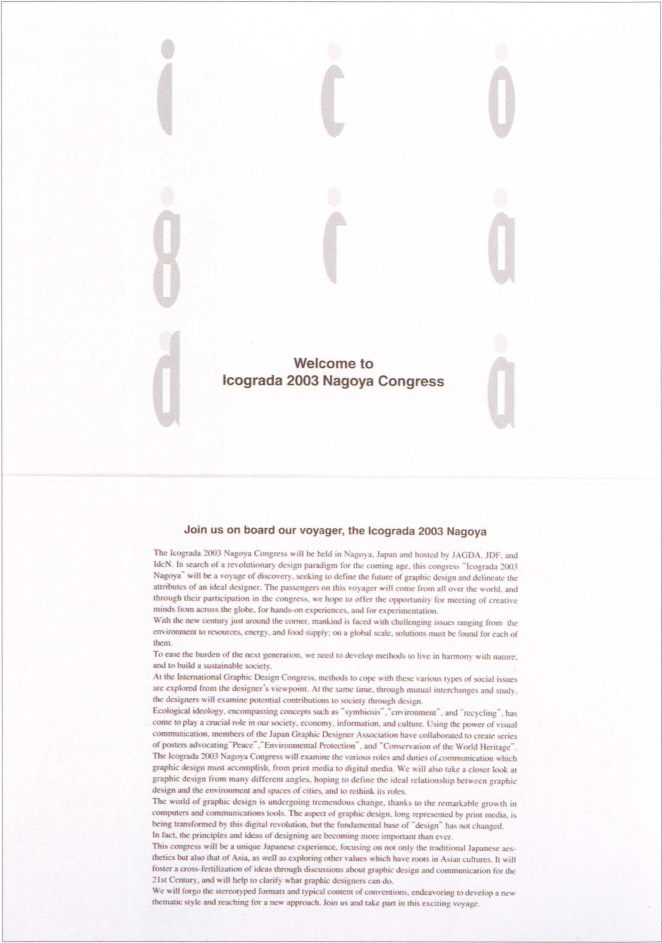
1998年／展覧会告知—"UNESCO"



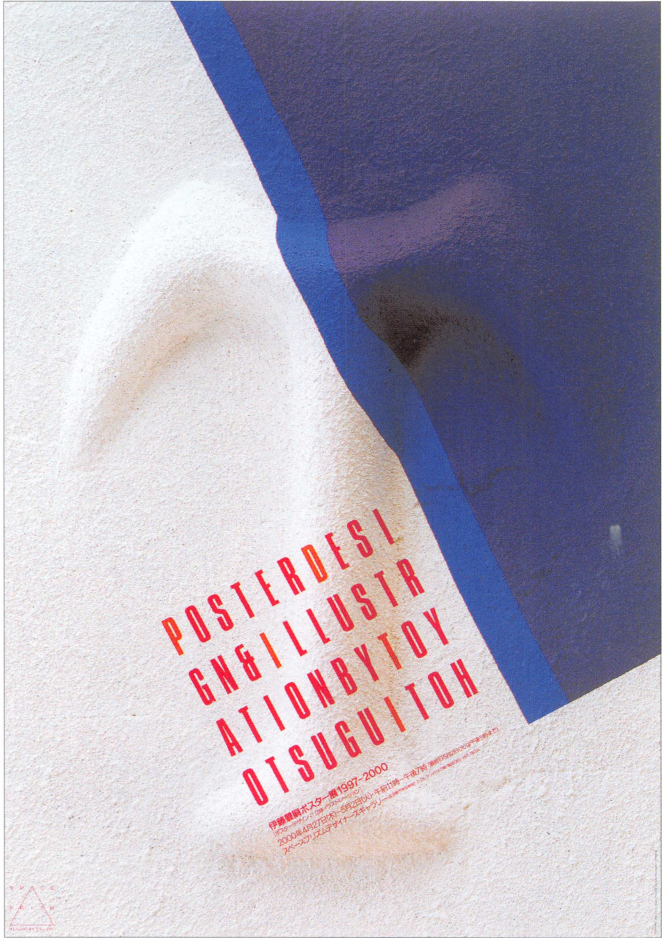
文字をメインにしたデザイン



1999年／世界グラフィックデザイン会議PR—"Icograda"



2000年／展覧会告知—"P"OSTER



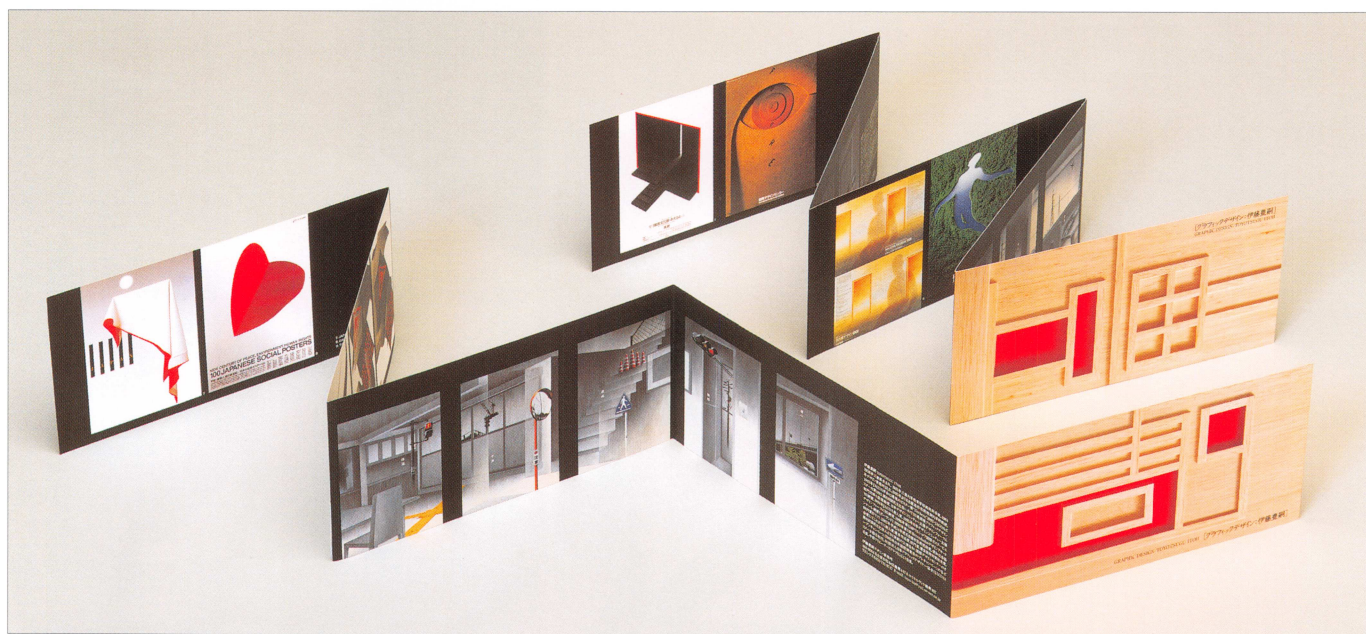
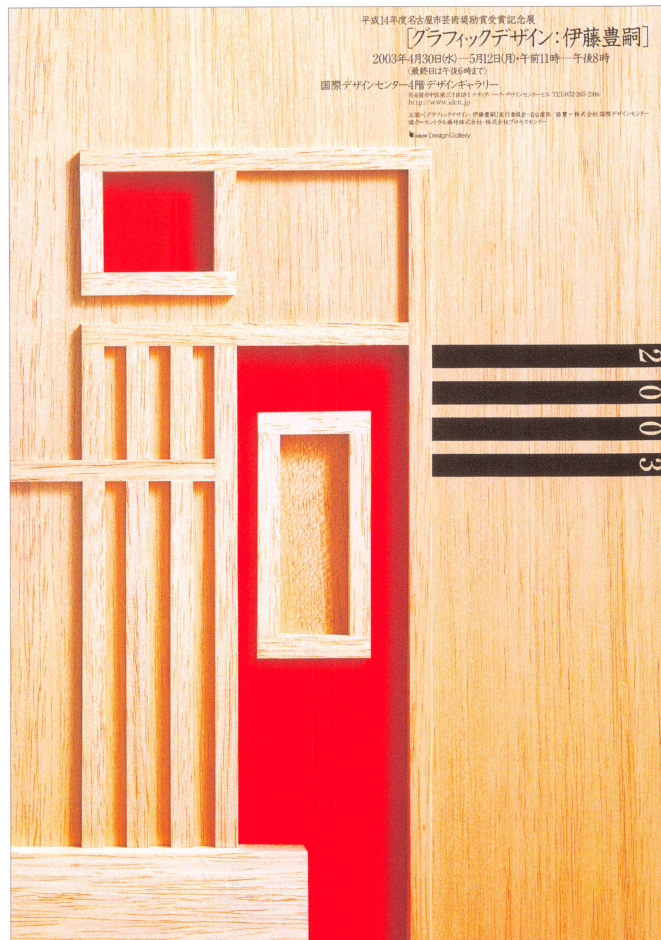
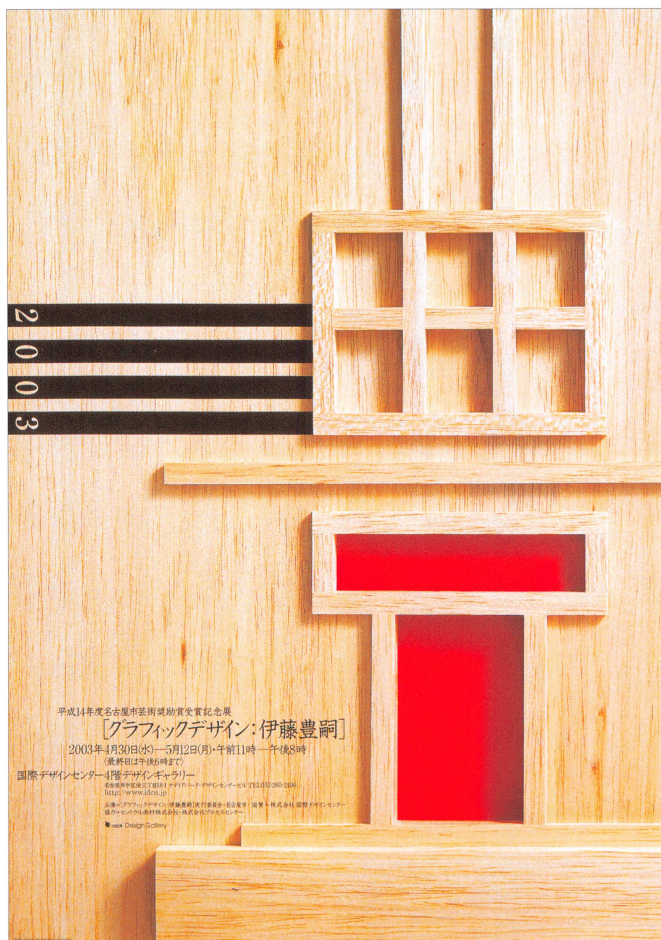
2000年／展覧会告知—"T"OYOTSUGU



2002年／デザインアワード発表展告知—"C" CDO (Council of Chubu Design Organizations)



2001年／名古屋のイメージポスター展出品—"NAGOYA" PORT



2003年／個展告知—「豊」・「嗣」